

西小学校・弥生小学校統合校舎 の整備について

1 これまでの経過

平成4年度

学校教育審議会へ「西部地域における小学校の適正配置について」諮問

平成5年度

学校教育審議会から「西部地域における小学校の適正配置について」答申

平成16年度

学校教育審議会へ「西小学校・弥生小学校の統合について」諮問

平成17年度

学校教育審議会から「西小学校・弥生小学校の統合について」答申

平成18年度

西小学校と弥生小学校のPTAが統合について同意

西小学校と弥生小学校の統合決定、統合校の位置は現弥生小学校

2 学校教育審議会への諮問、答申

平成4年に学校教育審議会に西部地域の小学校の適正配置について諮問した結果、平成5年9月6日に「西部地域における小学校の適正配置については、今後の児童数の推移を慎重に見守るとともに、将来的にはより好ましい教育条件のもとに教育活動の一層の充実が図られるよう、具体的な計画の推進に努めること」との答申を受けた。

このような状況のなかで、教育委員会としては、西小学校と弥生小学校について、児童数の推移を注意深く見守ってきたが、両校とも各学年1学級が続いているおり、とりわけ西小学校については、その減少傾向が大きく、学年によっては10人以下まで落ち込むことも予想されていることから、平成16年12月22日に学校教育審議会に両校の統合について諮問をした。

この結果、平成17年12月1日に「西小学校・弥生小学校の施設の老朽化が著しく進んでおり、教育環境の改善が必要な状況にあることから、より好ましい教育条件のもとに教育活動の一層の充実を期するため、西小学校と弥生小学校の統合を実施し、統合校の位置は通学距離等を勘案し現弥生小学校とする。」との答申があり、また、付帯事項として「統合校の校舎は快適・安全な教育環境となるよう努めること」とされたところである。

3 PTAおよび地域等の要望

平成18年10月2日に西小学校および弥生小学校両校のPTAから両校の学校統合について同意書が提出され、また、統合にあたっては校舎を新築し、良好な学習環境を確保することなどについて要望書が提出された。

平成19年8月9日には、関係町会の7町会から、両校の統合と改築の早期の実現に対して陳情書が提出されたほか、弥生小学校同窓会からも現在の校舎のイメージを残しながら校舎を新築し学習環境を整備するよう要望書が提出されている。

4 施設の概要

(1) 西小学校

西小学校は、西中学校と一体の敷地にグラウンドを挟み設置されており、校舎は昭和46年に第1期工事が完成し、築後37年が経過していることから、建物はもとより、水道や暖房等の設備についても老朽化が進み、改修が必要な時期となっている。

グラウンドは、西中学校と共有となっていることから、時間調整などが必要となり、非常に使いづらいものとなっている。

所 在 地	函館市弥生町12番1号
敷 地 面 積	8,432m ²
建 築 年	昭和46～47年(1期～3期)
構 造	鉄筋コンクリート造3階建
延べ床面積	4,365m ² (校舎 3,581m ² 体育館 784m ²)
グラウンド面積	4,966m ² (西小学校保有面積 2,173m ²)
学 級 数	6学級
児 童 数	86人 (H19.5.1)



(2) 弥生小学校

弥生小学校校舎は、昭和13年に完成したものであり、築後70年あまり経過していることから、建物や設備等の老朽化が著しい状況であり、最大40学級、2千人余りの児童数に対応した施設であることから、現状の児童数では過大な校舎規模となっている。

グラウンドは、校舎と体育館に囲まれており、極端に狭く使いづらいものとなっている。

また、同校は、当市が定める都市景観形成地域に位置し、平成元年に景観形成指定建築物等として指定されている。

所 在 地	函館市弥生町4番16号
敷 地 面 積	11,709m ²
建 築 年	昭和12～13年
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建
延 ベ 床 面 積	7,946m ² (校舎 6,823m ² 体育館 1,123m ²)
グラウンド面積	1,960m ²
学 級 数	8学級 (普通6学級、特別支援2学級)
児 童 数	185人 (H19.5.1)



5 弥生小学校校舎の耐震診断等の結果

校舎の耐震診断とコンクリートの圧縮強度試験等を実施した結果は下記のとおりであり、有効な耐震補強の実施は難しいものと判断される。

【結果】

- ・耐震診断により、構造体の耐震性が極めて低いと判定された。
- ・コンクリート圧縮強度が低く中性化も進み、鉄筋には錆も発生している。
- ・地質調査による地盤の支持力度が低く、現状の基礎では過小である。

6 統合校舎の整備方針

統合校舎については、施設の耐震診断などの結果や両校のPTAなどからの要望などを踏まえ、学校としての安全性の確保や学習環境の改善を図るとともに、景観形成指定建築物等の指定継続を目指す必要があることから、弥生小学校の有する歴史性や独特の意匠、さらには地域の町並みに配慮しながら、建物の外観を構成する主な立面を忠実に復元し、改築する方向で検討することとする。

なお、整備に当たっては、今後、市民意見等もふまえながら決定することとする。

7 統合校の想定規模

学級数	12学級（普通10学級、特別支援2学級）
児童数	246人（H24年度の推計児童数）
諸 室	普通教室（12教室）、音楽教室、家庭教室、理科教室、図画工作教室、図書室、コンピュータ室、視聴覚教室、生活教室、ランチルーム、メモリアルホールなど
規 模	校舎 約3,940m ² 体育館 約1,080m ²

※ 校舎の構造、諸室の配置などについては、平成20年度の基本設計により決定することとする。

8 今後の整備スケジュール

平成20年度	統合校整備基本設計
平成21年4月1日	西小学校、弥生小学校統合（仮校舎西小学校）
平成21年度	統合校整備実施設計、弥生小学校解体工事
平成22年度	統合校整備工事（校舎）
平成23年度	統合校整備工事（校舎、屋体）
平成24年4月1日	統合新校舎供用開始

凡例



弥生坂通（都市計画道路3.3.27）

